

福祉教育メニュー

車いす体験

段差や坂道を通行する車いす体験を通して、車いすユーザーの体感や生活するうえの工夫や不便さを知り、身体障がい者への理解を深め、誰もが暮らしやすい地域について考えます。

アイマスク体験

アイマスクを用いて目が見えない状態で歩くことや、視覚障がい者の誘導することで、視覚障がい者どんなことに困るのかを体験し、安心して暮らすために何が必要か、何ができるのかを考えます。

点字教室

点字板を使用して文章を作る点字点訳体験や、点字がついている絵本や日用品に触れることで、視覚障がい者への理解を深め、社会の中にある思いやりの取り組みを知り、思いやりの気づきにつながる視点を育みます。※点字板の貸し出しは社協が行っています。

高齢者疑似体験

高齢者疑似体験セット（肘・膝固定サポーターやおもりなど）を用いて高齢化による身体の老化現象の疑似体験を通して、身体的不自由さや高齢者の心情を理解します。※高齢者疑似体験セットは小学生低学年から使用可能、貸出のみも可能

知的・発達障がい者疑似体験

障害のある人の世界を、疑似体験を通して伝えます。また、支援者や当事者、その家族などによる普段の暮らしや仕事の話などから、人はそれぞれの個性や役割が違うからこそ輝き、輝き合うからこそ、社会が成り立つことを学びます。

災害対応クロスロードゲーム

「クロスロード」とは「分かれ道」を指します。災害時の行動は、ジレンマ（どの選択肢＝岐路を選んでも何らかの不利益が生じる状態）を伴う重大な決断の連続ととらえ、これをゲームに仕立てたのが「クロスロード」です。災害時にどう行動をとるかを考え、参加者同士で意見交換を行い、ゲームを通して防災・減災について考えます。